

□講義科目(専門科目)

科目名	地域福祉論(隔年開講科目、2023 年度開講)	2単位
担当者	川島 ゆり子	
テーマ	包括的支援体制と地域福祉	
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt; コミュニティワーク、福祉コミュニティ、コミュニティソーシャルワーク、社会参加、コミュニティケア</p> <p>&lt;内容の要約&gt;</p> <p>住み慣れた地域で誰もが安心して暮らし続けることを支えるためには、人の暮らしづらさに寄り添い地域生活課題の解決をめざしていく個別支援と、人の暮らしの基盤となる地域づくりを連動させていく必要がある。また地域福祉を推進する実践者は、これらの地域を基盤とする社会福祉援助技術の理解だけでなく、それらの支援を地域の中でシステムとして運営していくための制度政策のプランニング・運営への理解も深めていくことが求められている。個別支援の理念としての「ケア倫理」、個別支援と地域支援を連動させる援助技術としての「コミュニティソーシャルワーク」、地域福祉の今日的な制度政策の基盤としての「包括的支援体制」。この3つを講義の中核とし実践面と政策面の双方から地域福祉へのアプローチを試みる。</p> <p>&lt;学習目標&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①地域福祉の理論・政策・実践・技術を体系的に学ぶことができる。</li> <li>②地域福祉計画の策定および推進方法を具体的に学ぶことができる。</li> <li>③コミュニティソーシャルワークの実践および人材養成のあり方について学ぶことができる</li> <li>④制度のはざまに陥るような社会的孤立の状況にあるケースについて、アセスメントからプランニングまでを事例に基づき検討することができる。</li> <li>⑤重層的支援体制整備事業の実施および、地域福祉計画策定の具体的な事例を学ぶことができる。</li> <li>⑥コミュニティケアの価値・理念について学ぶことができる</li> </ol>	
授業の進め方	<ol style="list-style-type: none"> <li>1講 社会的孤立と地域福祉</li> <li>2講 地域福祉の理論と構成</li> <li>3講 コミュニティソーシャルワークのプロセスと総合相談への展開</li> <li>4講 個別支援のネットワーク化、機関連携とソーシャル・キャピタル</li> <li>5講 個別課題の普遍化と福祉文化の醸成</li> <li>6講 ソーシャルアクションと資源開発</li> <li>7講 地域アセスメントの視点と手法(量的調査・質的調査)</li> <li>8講 ボランティア活動 その理念と意義</li> <li>9講 地域福祉の人材養成の実際</li> <li>10講 包括的支援体制整備に向けた政策的動向</li> <li>11講 地域福祉計画の策定プロセスとその課題</li> <li>12講 社会福祉協議会の組織の歴史と運営</li> <li>13講 社会福祉法人の社会貢献 NPO 法人の地域活動</li> <li>14講 参加支援と地域づくり 重層的支援体制事業の相互関連性</li> <li>15講 コミュニティケアとケアの倫理</li> </ol>	
事前学習の内容 学習上の注意	この講義は、パワーポイントを用いた講師による情報伝達と、参加者によるディスカッションの双方向により構成されます。テーマごとに事前にテーマに関する情報を書籍や自分自身の実践現場である地域の情報から収集し、自分自身の地域でどのように展開していくかということ意思するようにしてください。	
本科目の 関連科目	私の研究テーマと方法 社会福祉政策論 プログラム評価論	
テキスト	川島ゆり子他『地域福祉論』ミネルヴァ書房 2017 年	
参考文献	川島ゆり子『地域を基盤としたソーシャルワークの展開』ミネルヴァ書房 2014 年	
成績評価 方法と基準	中間レポート2回(10点 A4×1枚)、最終レポート(50点×1回 A4×3枚)、講義・演習等での発言など出席の姿勢(30点)により評価し、総合評価 60点以上を合格とする。	